

雇用失業統計研究会（第12回）議事概要

1 日 時 平成30年7月13日（金）16:00～18:00

2 場 所 総務省第2庁舎 6階特別会議室

3 出席者（構成員） 玄田 有史 東京大学教授[座長]
太田 聰一 慶應義塾大学経済学部教授
神林 龍 一橋大学経済研究所教授
黒田 祥子 早稲田大学教授
篠崎 武久 早稲田大学教授
原 ひろみ 日本女子大学家政学部准教授
弓 信幸 厚生労働省職業安定局雇用政策課長
川辺 健一郎 東京都総務局統計部社会統計課長
(ワ) 野地 祐二 厚生労働省政策統括官付参事官(雇用・賃金福祉統計担当)
(統計局) 佐伯統計調査部長，栗田調査企画課長，長藤労働力人口統計室長，
吉田課長補佐，関野課長補佐，須藤課長補佐，押本統計専門官，大島係長，
石井係長

4 議 題 (1) 労働力調査の公表について
(2) 平成29年就業構造基本調査の公表について
(3) その他

5 議事の概要

(1) 労働力調査の公表について

- ・労働力が逼迫している中、未活用労働も少ないという結果であった。
- ・潜在労働力人口は37万人と少ないが、追加就労希望就業者は177万人と多い。追加就労希望就業者の活用が今後、重要になる。
- ・年齢階級別の就業可能非求職者等、小さい値について数字が一人歩きしないよう、結果精度についての注記が必要かもしれない。

(2) 平成29年就業構造基本調査の公表について

- ・男性の育児参加の実態をわかりやすく理解してもらうため、育児に参加していない人も含めて、家事・育児時間別の参加状況を見せられると良い。
- ・都道府県別について、該当するサンプルが小さいため、その値や順位が有意か否か、誤解を招かないよう留意する必要がある。
- ・就業調整の結果等について、今後、詳細に分析していただきたい。

(3) その他

【勤務間インターバル】

- ・勤務間インターバルだけではなく、実際に休めているのか、睡眠時間についても分析してみると良い。
- ・ホワイトカラー労働者以外の者や、今回、分析対象から外している交替制勤務等についても分析できると良い。

【年齢階級区分】

- ・就業の状態について、より適切な分析を可能とするため、20～69歳区分の就業率の公表を検討したい。

(以 上)